

令和8年度

運営に関する計画



大阪市立香篔小学校

大阪市立香簀小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

I 学校運営の中期目標

現状と課題

昨年度は、大阪市教育振興基本計画に基づく3つの最重要目標のもと、各取組を計画的に進め、安全面や教育環境の整備、児童の自己有用感の育成において一定の成果が見られた。

「安全・安心な教育の推進」では、いじめアンケートの複数回実施と教職員間の情報共有により、いじめ事案の減少や不登校児童在籍比率の改善が見られた。一方で、あいさつの定着や「いじめはいけない」という規範意識については数値が伸び悩み、日常行動への内面化や継続的な見取りの工夫が課題として残った。これらの課題を踏まえ、今年度は、これまでの取組を継続しつつ、各取組の目的や意義を改めて明確にし、児童がその意味を理解し、自らの行動として発揮できるような働きかけを重視する。とりわけ、あいさつや「いじめは決して許されない」という規範意識については、行事や特別活動の場面に限らず、日常の学級活動や授業、休み時間など、様々な教育活動と関連付けて指導する。これにより、児童一人ひとりの内面に根付くことをめざす。また、教職員による日常的な見取りや声かけを通して、児童の小さな変化を捉え、早期の支援につなげる体制の充実を図る。さらに、家庭や地域との連携を通して、学校内で育てた意識や行動が学校外でも発揮されるよう働きかけ、「安全・安心」が児童の日常として実感できる学校づくりを推進していく。

「未来を切り拓く学力・体力の向上」では、国語科を中心に対話的な学びや ICT を取り入れた授業改善により、話し合い活動に関する肯定的評価は一定の成果を上げた。しかし、学力調査では学年・教科による差が残り、理科への好意度や運動への意識は年度後半に低下するなど、学びの楽しさや自己効力感を高める工夫の必要性が明らかとなった。今年度は、研究教科を算数科に変更し、教員が指導法の基礎基本をきちんと身に付けるだけでなく、児童が主体的で意欲的に学びに向かう授業づくり、支援を必要とする児童への学習支援方法にも視点を持ち、研究を進める。この研究を通して得られた成果を、他教科においても活用し、児童の主体的・対話的で深い学びへとつなげていきたい。

「学びを支える教育環境の充実」では、一人一台端末の活用やデジタル教材を用いた朝学習が定着し、ICT 活用は大きく前進した。また、行事や会議の精選により時間外勤務の縮減が進み、働き方改革においても成果が見られた。研修の充実により教職員の専門性向上も図られたが、学校ホームページの更新回数の減少など、情報発信面では改善の余地が残った。

昨年度、取組の「質」の向上や個別最適化へつながった成果をさらに伸ばし、「香簀の教育」として確立していきたい。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- ・令和11年度の全国学力・学習状況調査において、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を80.0%以上にする。
- ・令和11年度の全国学力・学習状況調査において、「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を90.0%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和11年度の小学校学力経年調査において、「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.0%以上にする。
- ・令和11年度の本誌調査において、「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を80.0%以上にする。
- ・令和11年度の小学校学力経年調査において、「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90.0%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和11年度の本市調査において、「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童生徒の割合を80%以上にする。
- ・令和11年度の本市調査において、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標(全市共通目標を含む)

【安全・安心な教育の推進】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標

- ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。【未調査】
- ・小学校学力経年調査における「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。【未調査】

学校の年度目標

- ・年度末の校内調査において、あいさつに関する児童の肯定的割合が89%を上回るようにする。【R7→88%】
- ・小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」を肯定的に回答する児童の割合を96%以上にする。【R7→95.7%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標

- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。【R7 44.7%】
- ・小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。【未調査】
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。【R7 71.8%】

学校の年度目標

- ・毎月「ほけんだより」を発行し、月1回せいけつしらべを行う。【R7 ほけんだより毎月発行、せいけつしらべ月1回実施】
- ・食に関する指導を各学年2回、給食がんばり週間を年2回実施する。

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標

- ・小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にする。【未調査】
- ・教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月12時間以下とする。【R7 12時間36分】

学校の年度目標

- ・校内で実施される各種の研修を、年12回以上にする。【R7 11回】
- ・地域との交流会を年3回以上実施し、学校ホームページを各学年週1回以上アップする。全体のアップ数は500回以上をめざす。

本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市立香簀小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標</p> <p>① 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。【未調査】</p> <p>② 小学校学力経年調査における「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。【未調査】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>③ 年度末の校内調査において、あいさつに関する児童の肯定的割合が89%を上回るようにする。【R7→88%】</p> <p>④ 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」を肯定的に回答する児童の割合を96%を上回るようにする。【R7→95.7%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>「心の天気」を効果的に活用し、児童一人ひとりの心の動きを迅速かつ確に把握するとともに、担任をはじめとした全教職員が多角的な視点から関わり、組織的できめ細やかな支援体制を作る。</p> <p>指標 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。【未調査】</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>道徳の授業において、毎授業交流活動を入れて自分の考えを深め広げることができるようにする。</p> <p>指標 小学校学力経年調査における「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。【未調査】</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>児童の学校生活におけるあいさつへの意識を高め、あいさつしようとする態度を育てる。</p> <p>指標 年度末の校内調査において、あいさつに関する児童の肯定的割合が89%を上回るようにする。【R7→88%】</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>児童会活動での奉仕活動(あいさつボランティア、美化ボランティア等)、プロやアスリートによる出前授業などを通して、将来を見据えたキャリア教育を実践する。</p> <p>指標 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」を肯定的に回答する児童の割合を96%を上回るようにする。【R7→95.7%】</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立香簀小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標</p> <p>① 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 60%以上にする。 【R7 44.7%】</p> <p>② 小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 60%以上にする。【未調査】</p> <p>③ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 72%以上にする。【R7 71.8%】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>④ 子どもの発達に応じた健康に関する指導に定期的に取り組む。</p> <p>⑤ 食に関する指導を各学年 2 回、給食がんばり週間を年2回実施する。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>自然との関わりを大切に、理科的な見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察・実験を行い、体験を重視した授業づくりや理科観察実験の充実を図る。</p> <p>指標 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 60%以上にする。【R7 44.7%】</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>幅広い分野での興味関心を高め、疑問に思ったことを自分なりにまとめ、発表する機会をつくる。</p> <p>指標 小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 60%以上にする。【未調査】</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>体育科の授業時に持久力を高める運動内容を取り入れるとともに、体力向上を図るためのラダー・ミニハードル・ジャンピングボード等の運動器具の整備・充実を図る。トップアスリート等の招聘等を通して、体力向上と運動への意識を高める。</p> <p>指標 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 72%以上にする。【R7 71.8%】</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>健康な生活習慣の確立を図るため、子どもの発達に応じた健康に関する指導を行い、「ほけんだより」を活用して児童および家庭への啓発を行う。</p> <p>指標 毎月「ほけんだより」を発行し、月 1 回せいけつしらべを行う。【R7 ほけんだより毎月発行、せいけつしらべ月1回実施】</p>	

取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】

食に関する指導の全体計画に基づき、食に関する指導を行い、「給食だより」「食育通信」を活用して児童や保護者の食への意識を高める。

指標 食に関する指導を各学年2回、給食がんばり週間を年2回実施する。

食に関する指導【R7 2回実施】 給食がんばり週間【R7 2回実施】

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立香叢小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標</p> <p>① 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にする。【未調査】</p> <p>② 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月 12 時間以下とする。【R7 12 時間 36 分】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>③ 校内で実施される各種の研修を、年12回以上にする。【R7 11 回】</p> <p>④ 地域との交流会を年3回以上実施し、学校ホームページを各学年週1回以上アップする。全体のアップ数は 500 回以上をめざす。【R7 495 回】</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>各学級で Teams やクラスルームを作成し、宿題や連絡帳などで活用する。</p> <p>指標 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にする。【未調査】</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>時間外勤務の少ない職場環境をつくる。</p> <p>指標 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月 12 時間以下とする。【R7 12 時間 36 分】</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>全員授業や研究授業・検討会、教員研修会、メンター研修会等を開催し、専門的な知識・技能の習得をめざす。</p> <p>指標 校内で実施される各種の研修を、年12回以上にする。【R7 11 回】</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>地域関係諸機関との連携や学校ホームページの充実、オープンスクールを通して、開かれた学校づくりを推し進める。</p> <p>指標 地域との交流会を年3回以上実施し、学校ホームページを各学年週1回以上アップする。全体のアップ数は 500 回以上にする。【R7 495 回】</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	